

製品名: CD10 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08179**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	85kDa

抗原情報

遺伝子名	MME
別名	MME; EPN; Neprilysin; Atriopeptidase; Common acute lymphocytic leukemia antigen; CALLA; Enkephalinase; Neutral endopeptidase 24.11; NEP; Neutral endopeptidase; Skin fibroblast elastase; SFE; CD10
遺伝子 ID	4311.0
SwissProt ID	P08473
免疫原	抗血清はヒト MME の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 491-540

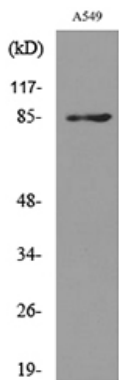
背景

この遺伝子は、ヒト急性リンパ性白血病（ALL）の診断において重要な細胞表面マーカーである、共通の急性リンパ性白血病抗原をコードしています。このタンパク質は、ALL 症例の 85% を占めるプレ B 表現型の白血病細胞に存在します。しかし、このタンパク質は白血病細胞に限定されず、様々な正常組織にも存在します。特に腎臓に多く含まれる糖タンパク質で、近位尿管の刷子縁と糸球体上皮に存在します。このタンパク質は中性エンドペプチダーゼであり、疎水性残基のアミノ側でペプチドを切断し、グルカゴン、エンケファリン、サブスタンス P、ニューロテンシン、オキシトシン、ブラジキニンなどのペプチドホルモンを不活性化します。この遺伝子は 100kD の II 型膜貫通糖タンパク質をコードし、45kb を超える単一コピーとして存在します。この遺伝子の 5' 非翻訳領域は、触媒活性：疎水性残基間のポリペプチド、特に P1' にフェニルアラニンまたはチロシンが存在する場合のポリペプチドを優先的に切断します。補因子：サブユニットあたり 1 個の亜鉛イオンと結合します。疾患：ヒト急性リンパ性白血病の診断における重要な細胞表面マーカーです。酵素調節：オピオルフインによって用量依存的に阻害されます。機能：サーモリシン様の特異性を有しますが、作用範囲は 30 アミノ酸までのポリペプチドに限られます。生物学的には、グリシン-フェニルアラニン結合の切断によるメチオニンおよびロイシンエンケファリンなどのオピオイドペプチドの分解において重要です。心房性ナトリウム利尿因子（ANF）の分解に関与する。類似性：ペプチダーゼ M13 ファミリーに属する。

研究分野

レニン-アンジオテンシン系;造血細胞系統;アルツハイマー病;

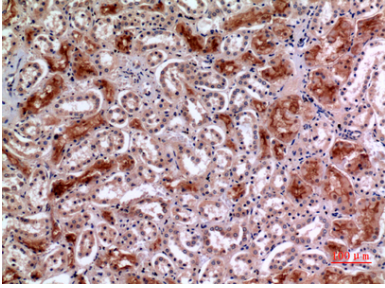
画像データ



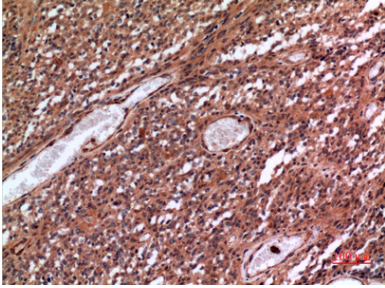
MME 抗体を使用した A549 細胞の溶解物のウェスタン プロット分析。



CD10 ポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンプロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された